

# HEIWA GAKUEN



2025年2月発行

## 平和学園広報



認定こども園 平和学園幼稚園

平和学園小学校

アレセア湘南中学校

アレセア湘南高等学校

学校法人平和学園

〒253-0031 神奈川県茅ヶ崎市富士見町 5-2  
TEL:0467-87-0131 FAX:0467-87-2088

<https://www.aletheia.ac.jp/>



平和を実現する人々は、幸いである / マタイによる福音書5章9節

学校法人平和学園の中で、いちばん小さい子どもたちが生活しているのが「認定こども園平和学園幼稚園」です。ここでは、1歳から5歳の子どもたちが250名が生活をしています。認定こども園（幼稚園）は、学校教育法に定められた「学校」です。学校というとすぐに学びの場とイメージしてしまいますが、平和学園幼稚園の子どもたちは「あそび」を通じて「まなび」を深めていきます。これは、平和学園小学校やアレセア湘南中学高等学校で実践されている「体験の学び」や「体験的・探求的な学び」と同じような「学び」につながっていきます。

「どのようになりたいか」「あそび」「まなび（学び）」につながっていくのでしょうか。そのためには、子どもが遊びこめる環境が整っていることが大切です。環境と言っても実に様々です。子どもたちが、「工作をしたい」と思ったときに十分な素材や道具が揃っているか、これもひとつの環境（物的環境）です。ただ、それ以上に大切にしたい環境があります。それは人的環境です。幼稚園の中には無数の人と人とのつながりがあります。子ども同士の関係性、子



### いちばんさいしょの“学校”

認定こども園平和学園幼稚園園長 小湊 将之

どもと先生の関係性など様々です。私たち保育者は、子どもとともに遊び、ときに見守りながら、その生活を支えています。目に見えるかたち、手で触れるかたちでの関わりがあり、目には見えないかたち、心で触れるかたちでの関わりがあります。子どもたちは、一緒に遊んでくれる先生のが大好きです。同時に、自分たちのことを守り、わかってくれる、知ろうとしてくれる先生のことでも大好きです。

今、子どもたちがどのような「あそび」に没頭しているのかを知り、気付かないうちに物的環境を整えること。あるいは、どこにいけば、それが手に入るかを一緒に考えること。その場に赴いて交渉してみる（職員室、事務室、小中高等学校、地域と様々な場所へいきます）を通じて子どもたちの世界が広がるような関わりもしています。自然と、「あそび」が深まり「まなび」へとつながっていくように。

それに伴って多様な人たちのつながりが生まれて経験を深めていけるように。今後も、いちばんさいしょの「学校」としての大きな役割を担えるように努めてまいります。

### 聖書の言葉

闇の中を歩んでいた民は

大いなる光を見た。

（聖書協会共同訳聖書）

イザヤ書9章1節

絵の具の黒は、他の色と混ぜてもずっと黒のままです。それと同じように、闇と光を比べると、闇のほうが強く、光を飲み込むのではないかとさえ思われます。しかし朝日や夕日を浴びる時、光の強さを感じることが出来ます。闇闇に与えられた光は、たとえ小さな光でも人の心の希望となります。小さな光を見出すことができれば、その光は、大きな光へとつながっていきます。「幸せのちらちら」という映画がありました。実在したホームレスから実業家になった黒人男性の物語です。彼の人生が変わったのは、息子と自分に泊まる場所を提供してくれた修道院で夜を過ごした朝、窓から差し込む小さな光を見てからです。小さな光が大きな光となっていくには時間がかかります。しかし、小さな光は、大きな光へとつながる希望を私たちに与え続けます。そして大きな光のある場所へと私たちを導いてくれるのです。預言者イザヤは、暗く、戦いばかりの時代に、目には見えない神様の光があることを伝え続けました。小さな光から見つけ出したいと思えます。

学園宗主任 児玉 慈子

Heiwa Topics

認定こども園 平和学園幼稚園

Happy are those who work for peace 平和を実現する人々は、幸いである

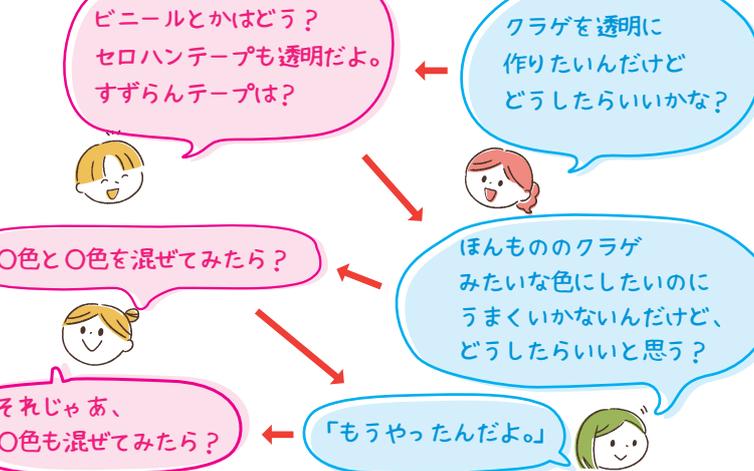
「命が吹き込まれる」

平和学園幼稚園では、年長組の子どもたちが毎年「新江ノ島水族館」へ園外保育に出かけています。ただ、遠足的に水族館に遊びに行くということではありません。そこで出会った魚や海のいきものたちを幼稚園に戻ってから作り、展示し幼稚園の中に水族館を作り上げるのです。



図鑑とにらめっこしながら、自分の頭の中に記憶してきた色合いや質感を表現しようと試行錯誤します。自分ひとり、または友だち同士で教え合いながら、ときに先生と相談しながら、子どもたちの作品は作られています。

例えばクラゲに心奪われ、作りたいたと考えた子どもがいます。目の付けどころとして透明感を表現したい子どもは素材探しから動き始めます。また、見え方に興味がある子は違ったことを考えます。「こっち側から見るとピンクっぽく見える、逆から見ると紫っぽく見える」自分の目ではそう見えるのに作品にしていくこととするとなかなか難しいことに気が付きます。



子どもたちは、一筋縄にいかない作品づくりの中でも前向きに取り組んでいます。思い通りにいかない色づくりもパレットの上をいろいろな色で埋めつくして、納得のいくまで何度も色の調合を行います。自分で考えて、試して、失敗して、また繰り返す。そして、納得のいく色が出来上がったときの達成感と言ったら…。私たちには想像できないような大きな喜びが生まれます。手の中におさまるような作品であっても、そこに注ぎ込む時間や熱量はとて大きなものです。そうした過程を経

て、子どもたち一人ひとりのいきものたちに「命が吹き込まれていくのです。

今年の水族館活動の中では例年にならぬ特別ゲストの方からも大きな力をいただきました。平和学園小学校の先生とのつながりで出会った「新江ノ島水族館」の飼育員(トリーター)の八巻鮎太さんです。子どもたちの作品づくりの中のアドバイスをはじめ、出来上がった水族館にもお越しいただきました。また講演も子どもたちが楽しむことができました。本物の水族館の人からアドバイスをもらったり、作品を褒めてもらったり、子どもたちにとっては大変ゆたかな時間になりました。



Heiwa Topics

平和学園小学校

Happy are those who work for peace 平和を実現する人々は、幸いである

平和学園小学校の児童の活動をご紹介します

平和学園小学校には、子どもたちが主体となって行われる活動がたくさんあります。少人数がゆえに、一人の子がいくつも担っている場合もあり、そしてそれは、自ら選んで行われていることも多いのです。そんな子どもたちの生き生きと活動する様子をお知らせします。

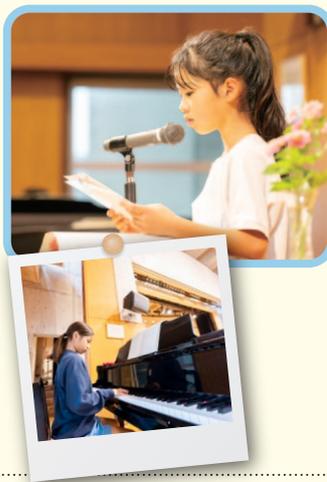
クラブ

小学校では、3年生以上の子どもたちが毎週水曜日に60分のクラブ活動を行っています。毎週ある小学校は珍しく、異学年交流の盛んな本校の特色のひとつでもあります。今年度は、スポーツ・テニス・日本文化・ハンドベル・手づくりの5部門があり、子どもたちは希望するクラブに入部し、一年間を通して活動を楽しみます。クラブによっては、ゲストの卒業生や保護者の方に技術を教えていただく機会があったり、自分たちの作品や練習したことを披露する機会もあったりと、子どもたちにとって有意義かつ楽しい時間になっています。



礼拝奉仕

「これから朝の礼拝を始めます。立て讃美歌の…」毎朝の礼拝は児童による司会、奏楽で始まります。学期ごとの始業礼拝や終業礼拝は教員が行いますが、日々の礼拝奉仕はすべて児童が行います。奉仕者は3年生以上の希望者です。上級生の奉仕者は聖書朗読や自分の言葉で祈ることに慣れていますが、初めて奉仕をする3年生は緊張がちがちになることも。でもそんな時、子どもたちはその気持ちをすぐに察して、言葉が詰まってもピアノの音が止まっても優しく見守り、静かに礼拝を続けます。その温かい気持ちがあふれる礼拝を、平和学園小学校では毎日行っています。



バザーいわし

小学校のバザーに子どもマッサージュ専門店「いわしコーナー」が復活しました。なんとなんと5年ぶりに。子どもたちの笑顔のためにたくさんたくさん、それも長い時間をかけてバザーを準備してくださった大人の疲れを癒したい。子どもの手でやさしくあたたく揉みほぐし、ありがとを伝えたい。その熱い思いをもって事前研修も複数回おこないました。5・6年生の有志が多数集まり、ちびっこイワシ12人が大活躍。「いわし」とは「いわ」と「いやし」がたし算された造語です。子どもも大人も笑顔に包まれる素敵なコーナーの復活に感謝、バザーを支えてくださった皆様に感謝します。(店長)



児童委員会

選挙で選出された会長、副会長、書記で構成される児童会のもと、学級奉仕、図書、新聞、保健体育の児童委員会があり、子どもたちが自分たちの学校生活を日々支えています。委員会活動は3年生から始まり、委員会ごとに先輩が後輩に教え、引き継いでいく縦割り活動の良さが生かされています。4年間こだわりを持って同じ委員会活動する子もいれば、色々な委員会にチャレンジする子もいます。各委員会は月に一度の会議で話し合われたことをもとに活動していきます。どの委員会でも子どもたちの意見が生かされ、子どもたちならではのアイデアと働きで、学校生活が豊かにされています。



学級委員会 (バザーのゴミ回収)

図書委員会 (新着本陳列準備)

Heiwa Topics

アレセイア湘南中学校

The truth (aletheia) shall make you free 真理はあなたたちを自由にする

中学1年生

はじめての聖書の学び

僕は聖書を学んだ時、最初に「絶対難しいじゃん」と思いました。なぜなら、聖書の本は分厚く、聖書を学ぶことに意味があるのかと思ったりしました。今まで読んだことがなかったもので、聖書について何も知らなかったからです。しかし、最初は意味が分からない言葉があるけれど、聖書の話には人を助けたり、愛したり、赦したりすることの大切さが教えられていて、読んでみると僕もそのような気持ちになれるような気がしました。



僕が聖書の中で特に印象に残ったのがイエス様の教えです。イエス様は「愛し合いなさい」や「敵を愛しなさい」という普通の人ならできないことを言うので、僕は「そんなことできるのか」と思いました。しかし、イエス様がそれを実際にやって、弟子たちを導いているというところが印象に残りました。そして、僕はイエス様の行動は生きていく中で大切なことがたくさん詰まっていると感じました。また、聖書には詩的な部分や比喩が多く、奥深さに驚かされました。僕は、聖書をもっと学んでみたいと思いました。

(中学1年)



みんなで作った

中学2年生の平和祭

中学2年生は、今回の平和祭で大きなチャレンジをしました。それは、2クラス合同でお化け屋敷をすることです。この大きなチャレンジの中で、実行委員の私が大変だったこと、平和祭を終えて感じたことをお伝えしようと思います。

まず2クラス合同での平和祭は、2年生全体の話し合いを進めることと、皆に指示を伝える事が一番大変でした。でも、準備が進んでいくと、皆が指示されたことだけをやるのではなく、「こうしたらもっと良くなるんじゃないか」とアイディアを足して、さらに良い物を完成しようと動くことができました。そして、当日は朝早く自主的に集まって準備をしたくれた人、シフトに来られなかった友だちの代わりに入ってくれた人など、みんなの協力があつて無事に終えることができました。その結果、展示部門コンテストで一位を獲得することができ、とてもうれしかったです。

私は、この平和祭を通して、2年生が周りをみて行動できる学年に成長したと思います。2クラス合同のお化け屋敷は大変でしたが、私たちにとって、とても良い経験になり、特別な思い出になりました。(中学2年)

\*平和祭は9月13日(校内発表)、14日に開催されました。

中学3年生

長崎研修旅行を終えて

僕達は今回の研修旅行で長崎へ行ってきました。まず、稲佐山展望台の景色が印象に残りました。展望台の屋上から見た景色は日本三大夜景と呼ばれるに相応しい景色で、仲間と一緒に見る夜景は一人で見るより、何倍も美しく見えました。平和学習では平和大使の方から原爆についてのお話を聞きました。原爆の世界保有数を聞いたときは恐怖と衝撃を覚えました。平和大使の方の「私達の力は微力だけど、無力じゃない」という言葉が胸に響きました。

また、友だちと過ごした夜は、すぐに眠りにつくことができませんでした。

班別自主行動では各班がそれぞれのテーマを決めて、インタビュー先へ訪問しました。そしてハウステンポスでは雨でびしょ濡れになりながら遊びましたが、それもいい思い出です。

この研修旅行で僕は、新しい発見と学びが沢山ありました。僕にとってもかけがえない経験であり、そして何よりも今のメンバーで過ごせた4日間は、自分の人生の中で大切にしたい思い出となりました。

(中学3年)



部活動紹介

中学男子バスケットボール部



中学男子バスケットボール部は、「日本一バスケットボールを楽しむ」を合言葉に2019年に再出発しました。現在は1年生4名、2年生3名、3年生4名、マネージャー3名の14名で活動しています。今年度は神奈川県大会ベスト8に進出しました。10月からは新チームとなり、ほとんどがバスケットボール未経験の1・2年生のみで3年生の先輩の姿を追って一生懸命活動しています。また、本校高校バスケットボール部と連携した6年間での成長を通して、生涯バスケットボールに関わってほしいと願っています。

部活動では、バスケットボールの技術向上はもちろんですが、さらに2つのことを大切にしています。1つ目は、活動を通して礼儀・マナー・挨拶を身につけ、社会人としても活躍できる人間になってもらうことです。そのために部活動だけではなく、文武両道、学校行事や勉強にも積極的に参加することを推奨しています。もう1つは、探求する精神です。自ら考えを発展させて探求する精神は、技術だけではなく、様々なことの成長スピードを高めます。自分で考えた結果、失敗することもあると思いますが、「自ら考え、挑戦する精神」を大切にしてほしいと思っています。

Heiwa Topics

アレセア湘南高等学校

The truth(aletheia) shall make you free 真理はあなたたちを自由にする

部活動紹介  
アーチェリー部



アーチェリー部は中学生12名、高校生22名、計34名で活動しています。活動場所は、アレセアの敷地内の隅にあるアーチェリー場。練習中に近づくと「タン！タン！」と矢が畳に当たる音が聞こえてきます。部活動の雰囲気としては一言でいうとアットホームで、中学1年生から高校3年生までの6学年が活動していることから良くも悪くものんびりとした部活動です。練習は平日4日と土曜日に活動しており、休日は各自で外部の射場で練習をしています。練習する距離は近射、18m、30m、50mとなっており、校外で試合に向けた60m、70mの距離を練習しています。今年度から月に1回コーチにお願いいただき、本格的な練習に取り組んでいます。目標は中学生が全日本小中学生大会への出場、高校生はインターハイ、全国選抜大会への出場および上位入賞を目指しています。今年度は3名が関東選抜大会への出場を獲得し、この大会の結果、全国選抜大会へ1名の出場が決まりました。大会で自己ベストが出せるように、日々の練習に取り組んでいます。

讚美歌コンクール

『無条件の愛』を賛美して

『無条件の愛』という言葉に惹かれて、私たちのクラスはこの曲を選びました。私たち一人ひとは、過去の過ちや行いにかかわらず無条件に神に愛される存在だと聖書の授業で学びました。しかし、日頃から自分に劣等感を持つ人や、自分の嫌なところばかりに目を向けてしまう人がたくさんいると思います。私もその一人でした。そのため「アレセアのみんが、自分自身を心から愛せるように」という想いを歌の中に込めて、クラスで賛美することに決めました。私たち一年生は、毎朝の礼拝で大きな声で賛美することができていたので、練習を始めた頃も声の大きさに苦労することはありませんでした。練習を重ねるごとに、クラスメイトとの距離も少しずつ縮まってい



くのを感しました。時には練習が出来ない日もありましたが、そのたびに声を掛け合い、励まし合いながら、共に練習してきました。そして迎えた当日。半年前に入学式を迎えたこの場所に立った時、この半年、色々なことがあったなあと思いました。優秀賞という結果以上に、この練習期間を通して、クラスメイトとの仲がさらに深まったことがとても嬉しいです。  
(高校一年)

\* 讚美歌コンクールは10月1日に開催されました。

報告

英国研修旅行



本校では、毎年夏、高校生の希望者を対象に英国ウエールズのバンガーに研修旅行に行きます。今年も8月3日から約2週間、有意義な日々を過ごすことができました。今号では研修旅行の様子・生徒たちの感想をお伝えします。

初めての海外旅行で緊張した生徒も多くなりましたが、参加者はチャレンジして本当に良かったと語っていました。特に、現地のみなさんやホストファミリーがとても優しく、フレンドリーな方ばかりで、一生の宝物になったと言っている生徒もいました。また、午前はバンガー大学で英語の学びを深め、「日本で学んだ英語を海外で使うことで自分の力を試すことができた」、「言葉に詰まっても優しく待ってもらった」など、生徒にとって英会話にチャレンジしやすい環境でした。午後に行われたフィールドトリップでは授業で習った場所に実際に足を運び、見学を行いました。現地の歴史、自然そして文化を学ぶ、貴重な体験をすることができました。

今回の研修旅行を終えて、もっと英語力を身につけて再び英国に行きたいという生徒や、自身の成長を実感し、参加してよかったという生徒もいました。

英国研修旅行を迷っている人がいたら、ぜひチャレンジしてほしいと思います。

アレセアでの  
学びをふりかえって

3年間の高校生活を通して、沢山の友人と関わることができた。様々な出来事で自分自身と向きあった結果、大きく内面を成長させることが出来た。

2年生の1月、大切な友人が突然亡くなるという経験をしました。友人は亡くなる当日まで、普段と変わらず、学校の教室で元気な姿を見せ、何気ない会話を共に楽しんでいた。この友人とは、趣味や将来のことなど、何でも語り合える関係にあった。葬儀に参列し、最期の別れをした後も、友人の突然の死を受け入れることが出来なかった。しかし、この出来事によって、人と接することに對しての考え方が大きく変えられた。大切な家族や友人はもちろん、全ての人が今日や明日、そして突然、自分の前から離れ、いなくなってしまうとも限らないのだと。いつも隣にいられることを当たり前の事と思わず、これまで関わってきた人、これから関わる全ての人の貴重な時間を大切に過ごしていきたいと思っ。

(高校3年)



Information

校友会



会長 神尾 元洋

本年、小中高校各同窓会がひとつとなり平和学園の全卒業生のための校友会が発足しました。校友会は平和学園の幼稚園、小学校、中学校、高等学校に就学していた方、また旧職員の方など、平和学園にかかわった人々が、世代の垣根を越えて交流できる環境を提供し、皆さんを広く応援していく組織です。



後列左から 橘学園長、鮎啓泰さん(小1957)、夏村充元理事長、所澤理事長  
前列左から 千葉武さん(中1950)、香山ミヨ子さん(中1949)

山様は90歳で現在テキサス在住です。日本に一時帰国した折に母校を見たいとのこと要望を伺い、校友会として来校をサポートさせて頂きました。所澤理事長や橘学園長にも同席して頂き、78年前の平和女学校に中学一年生として入学されたころのお話をお伺いしました。

創立者である村島帰之先生の思い出について、「みんながその後、校内を見学して回り、ご自身が卒業した学校が大きく発展したことに感銘をされた様子でした。お話を伺い創立者の温もりを感じるひと時となりました。平和学園での生活は私たちに人生を支えてくれる、何かを教えてくれました。平和学園での思い出を共有し、仲間として交流が広がっていくことを願っております。

いつも村島先生、村島先生と慕い、お父さんの様な存在でした。また、何度かご自宅に遊びに行ったり奥様にも甘えたりして、村島先生は学園長や校長としてではなく、全ての生徒とご自身の子供の様に可愛がってくださっていました。村島先生は一生忘れられない存在です。」と語られていました。

平和学園のクリスマスツリー Christmas



法人だより

I 会議

- ・理事会 10月10日 1月9日 1月18日
・評議員会 1月18日
・常任理事会 7月16日 9月12日 9月26日
12月5日 1月30日

II 行事

- ・収穫感謝礼拝(各部)
幼稚園 11月6日
小学校 11月14日
中学校・高校 11月14日
・クリスマスツリー点灯式(全学部) 11月15日
・クリスマス礼拝(各部)
幼稚園 12月18日
小学校・中学校・高校 12月13日
〈メッセージ〉
幼稚園
児玉 慈子先生(学園宗教主任)
小学校・中学校
田中 耕大先生(アレセイア湘南中高聖書科)
高校1年・3年
長倉 基牧師(日本キリスト教団藤沢北教会)
高校2年
ジョナサン・マッカーリー牧師(日本キリスト教団那須塩原教会)

アレセイア湘南後援会



会長 星野 俊則

後援会は、6月に定期総会を開催し年度のスタートを切ります。7月には、高校野球の応援で球場に足を運びます。選手のプレーとスタンド一体の熱い応援には、いつも元気をいただきます。10月には、恒例のバスツアー「国会議事堂・豊洲千客万来他」を現役保護者の方々も含め皆さんと企画して行って参りました。解散直後の衆議院は重厚な建物で、主のない議事堂はどっしりと存在感を感じました。食品サンプル体験は日本人の器用さが引き立つ作業で、海外の観光客



にも好評なのがわかる気がしました。日常の忙しさから解放されてゆったりと秋の時間を過ごせました。今後クラブ活動の支援等を含めて、学園の後押しができるよう皆様方のご理解・ご協力をお願いする次第です。ご加入を随時受け付けております。(学園事務局まで)

